

2018年 3月20日

No. 6 0 8

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

福島県農業総合センター畜産研究所の 研究成果発表会と試験研究推進会議を開催しました

農業総合センター畜産研究所

平成30年3月2日、郡山市の福島県農業総合センターにおいて、福島県農業総合センター畜産研究所の「研究成果発表会」と「試験研究推進会議」を開催しました。

＜研究成果発表会＞

研究成果発表会は、畜産研究所が取り組み得られた試験研究成果並びに技術情報を、農業者、関係機関を始め県民に広く公表、伝達するとともに、参加者からの意見を伺うことを目的として毎年開催しており、今年度は当所所員を含め53名の方にご参加いただきました。

まず、成果の発表の前に、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門飼料管理技術研究領域作業技術ユニットの阿部ユニット長より「持続的な畜産経営を可能とする生産・管理技術の実証研究の成果」についてご講演いただきました。

この研究は、東日本大震災の被災地域を新たな食料生産地域として再生するため、被災地において先端的な農林水産技術を駆使した大規模な実証研究を行う「食料生産地域再生のための先端技術展開事業（先端プロ）」により行われたもので、今回は平成24～29年度の5か年の試験で得られた成果についてお話いただきました。

成果は、セシウム濃度を低減した自給飼料生産、省力的高品質堆肥の生産と再生可能エネルギーのマネジメント、乳房炎防除管理、雌雄判別技術を活用した酪農経営再生など多岐に渡っており、参加者は先端的な技術の実証成

績に熱心に耳を傾けていました。

講演に引き続き、畜産研究所の成果7題、浜地域農業再生研究センターの成果1題を発表しました（別表）。

特に飼料用米や自給飼料生産についての成果は参加者の関心が高く、活発な質疑がなされました。

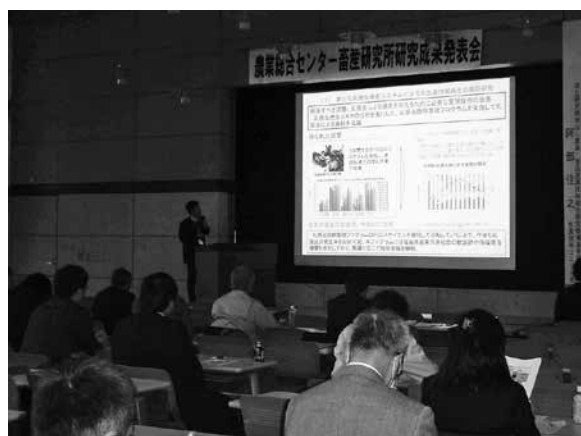
＜試験研究推進会議＞

試験研究推進会議は、地域農業者の多様なニーズや課題を踏まえ、現場と密着した実用性の高い技術の開発と、スピード感を持った研究推進及び速やかな成果の普及を図るため、毎年開催しており、今年度は当所所員を含め54名の方にご出席いただきました。

会議では、ご出席いただいた方々から当所の試験研究についてより具体的なご意見をいただくため、まず第1部として「酪農・飼料環境」「肉用牛」「養豚」「養鶏」の4つの分科会に分かれて意見交換を行い、その後第2部として全体会において各分科会での意見の報告と全体での意見交換を行いました。

分科会方式は今年度が初の試みでしたが、分科会、全体会ともに各生産現場における現状や問題点、要望について活発な意見交換が行われました。

研究成果発表会、試験研究推進会議を通していただきましたご意見、ご要望は今後の当所の試験研究に反映させてまいります。



農研機構 阿部ユニット長講演



研究成果発表

発表成果一覧

発表機関	発 表 成 果
畜産研究所	黒毛和種肥育農家において配合飼料の20%は圧ペン玄米で代替できる
	黒毛和種肥育牛配合飼料の20%は粉碎玄米で代替できる
	開放型育種により「フクシマD桃太郎」種豚の供給可能期間が延び、種豚の産肉能力は向上した
	フェストロリウム「東北1号」「那系1号」、ハイブリッドライグラス「ハイフローラ」は収量性等優れる
	放射性物質の吸収抑制対策を中止すると牧草中の放射性物質濃度は高まる
	牛糞たい肥の前年秋または早秋散布は牧草の放射性セシウム吸収抑制が期待できる
	未除染畦畔の摂取防止対策により安全に水田放牧を行うことができる
浜地域農業再生センター	牧草地でできる簡易な交換性カリ含量測定の実証



推進会議分科会での意見交換



推進会議全体会での意見交換

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!

カーボップEX ブラック

“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 Tz

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
URL : www.zenoaq.jp

福島県酪農青年研究連盟主催 第65回酪農発表大会・酪農講演会 (第4回酪青連酪農後継者支援研修会)を開催!!

福島県酪農青年研究連盟

福島県酪農青年研究連盟（会長 佐藤 正仁）が主催する第65回酪農発表大会・酪農講演会（第4回酪青連酪農後継者研修会）が2月23日（金）郡山市熱海町「磐梯熱海温泉清稜山倶楽部」にて、会員・関係者約90名に参加頂き、開催されました。

この大会は、県内各地の優秀な酪農経営の成果を発表し、それに基づく意見交換を行い、これによって酪農経営の合理化、そして近代化を推進して、本県酪農発展に資することを目的として開催しています。



はじめに、全農福島酪農同志会 片平 雄作さんの「野原を翔けるジャージー～放牧酪農と六次化～」と題し、発表頂きました。片平さんの牧場では栄養価、乳脂肪の高いジャージー牛飼育から牛乳の生産、アイスクリームへの加工、販売までを一貫しておこなっています。放牧酪農にもこだわり、春から秋にかけては自然放牧により酪農を営んでいたが、東日本大震災により放牧自粛となってしまう5年以上の牛舎飼育を余儀なくされてきました。その後日々の牧草、生乳の検査を根気強く実施し、放牧再開をすることも出来ましたが、放牧再開までの苦労や厳しい道のりなど大変だった事、放牧に向けて検査等の協力を頂いた行政や関係団体への感謝も話されました。牛に対する愛情の深さや六次化に対する熱い思いが盛り込まれており、「具合の悪い牛がいると、人の機嫌も悪くなる」という言葉が牛に寄り添った酪農経営をされているなど感じました。今後も牛を健康に飼養し、ジャージーの価値を高めるため、乳製品の販促やET受精卵も活用していきたいそうです。大変なことも多いこの仕事だが牛には人を惹きつける魅力があり、片平さん自体が癒され、心を満たしてもらい、他の

仕事では味わえない充実感や満足感があるとのこと。また、人と動物の触れ合いにより体と心に良い関係を作るアニマルセラピーなどが牛で広まることを願うと今後の目標や夢を発表されました。



全農福島酪農同志会 片平雄作氏

次に、県中酪農研究会 遠藤 明さんの「地域営農集団による、飼料共同生産・共同利用のメリット～わが家のゆとりある経営～」と題し、飼料共同生産・共同利用のメリットと経営、牛群管理、労働3つのゆとりについて発表頂きました。遠藤さんの牧場は郡山市中心部から約6キロ北西、標高450mほどの所にあり、同町には磐梯熱海温泉がある県内でも有数の温泉地でもあります。夏は冷涼、冬は積雪が多く寒さも厳しい土地でもあります。



県中酪農研究会 遠藤 明氏



遠藤 明氏の発表の様子



表彰を受ける遠藤 明氏

昭和30年より遠藤さんの祖父が乳牛2頭を導入したことから始まり、本格的に昭和51年からご両親が酪農をスタートされたそうです。遠藤さんは高校卒業後に約10年間サラリーマン生活を送り、30歳をきっかけに就農されました。遠藤牧場の経営の特徴は粗飼料の共同生産・共同利用を行っている点で石筵地区では、石筵牧野利用農業協同組合と石筵粗飼料機械利用組合が別組織で設立されており、牧草及びWCSを共同生産・共同利用を行っていて、遠藤さんもオペレーターとして参加しています。共同生産・共同利用により機械導入費用の負担軽減や収穫の順番やタイミングを巡って構成員間で不公平感が無いことや、作業の効率化により労働負担の軽減、品質の均一性の確保、生産費の圧縮を図ることが出来、天候等で牧草の原価が高騰してもある程度の所得率が確保できることから、ゆとりある経営に繋がり、一番のメリットではないかとのことでした。牛群管理については、自給粗飼料の質に応じてバランスの取れた飼料給与を実施することで牛に負担をかけずに無理のない乳量水準や繁殖成績を維持することが出来ていて、牛にもゆとりある管理が実践できているのだそうです。

全てにおいて、飼料共同生産・共同利用により遠藤牧場のゆとりが生まれているとのことでした。今後も地域酪農のすばらしさを次の世代にも渡せるよう地域で協力し継続営農を発展させていきたいと発表されました。

意見・体験発表と経営発表頂き、発表者のお二人の酪農に対する思いが熱く伝わり、また、夢や希望を大きく持ち続けられる酪農について、とても大きな魅力を感じましたし、酪農業は地域の関わりや大きな役割を背負っており、家族の支えや地域の仲間のつながりがとても重要ということに改めて感じました。片平さん、遠藤さんのように、「夢」や「将来」について、実現していく力強さに、まだまだ福島県酪農の大きな可能性をみいだせたように感じ、発表頂きましたお二人の今後のご活躍、ご発展を期待しております。

午後には、酪農講演会が開催され、カナダ アルバータ大学 乳牛栄養学教授 大場 真人先生より、「分娩後の乳牛栄養管理の最新情報」と題し、貴重な栄養管理に関する新しい情報を講演頂き、無事に酪農発表大会・酪農講演会（第4回酪青連酪農後継者支援研修会）は終了致しました。



福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

牧草・飼料作物のモニタリング検査と適切な利用について

福島県畜産課

1 平成29年度牧草・飼料作物モニタリング結果

福島県においては、牛の飼料の暫定許容値（1kgあたり100ベクレル）を上回る放射性セシウムが含まれる飼料を家畜に給与されることがないように、毎年、県内で作付けされる牧草・飼料作物のモニタリング検査を実施しています。

平成29年度からは、これまでのモニタリング検査の結果を基に、牧草・飼料作物の種類ごとに個別判断と地域判断の地域に分類しました。暫定許容値を超過する恐れがある地域を個別判断の地域として、除染後の圃場もしくは生産ロットごとに安全性を確認した上で農家の皆様に流通・利用していただいています。また、暫定許容値を超過する恐れが極めて低い地域を地域判断の地域とし、市町村（地域）ごとに安全性を確認しています。

平成29年度、680点のモニタリング検査を実施した結果、暫定許容値超過事例は無く（表1）、避難指示が解除された区域での永年生牧草やイネ科長大作物等も含め、放射性セシウム濃度の最大値は、永年生牧草（個別判断）の19ベクレルとなっています。

表1 平成29年度牧草・飼料作物モニタリング検査結果（平成30年2月14日現在）

	検査点数	放射性セシウム濃度（Bq/kg：水分80%補正值）				
		不検出～10	10超～30	30超～50	50超～100	100超
永年生牧草（個別判断）	147	143	4	0	0	0
永年生牧草（地域判断）	29	29	0	0	0	0
単年生イネ科飼料作物	95	93	2	0	0	0
イネ科長大作物	127	125	2	0	0	0
稲発酵粗飼料	101	100	1	0	0	0
稲わら	148	145	3	0	0	0
野草	17	17	0	0	0	0
稲ソフトグレインサイレージ・生刎	16	16	0	0	0	0
計	680	668	12	0	0	0

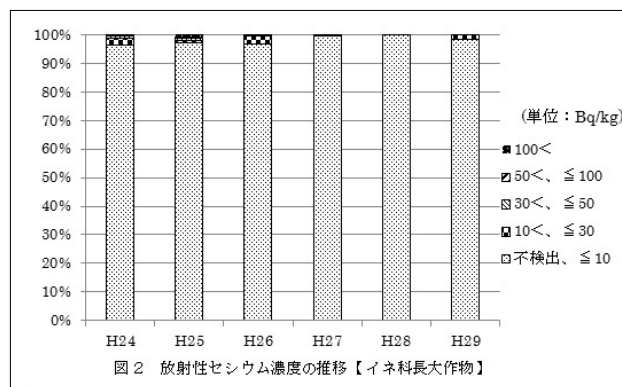
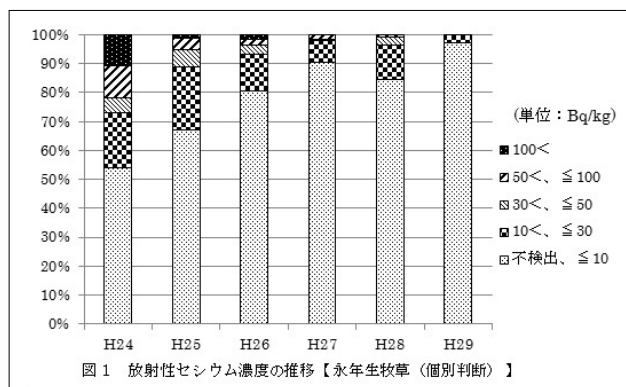
※永年生牧草以外は、個別判断及び地域判断の地域で検査を行った合計点数。

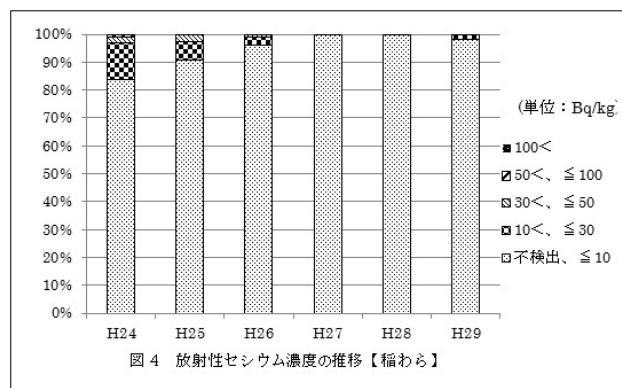
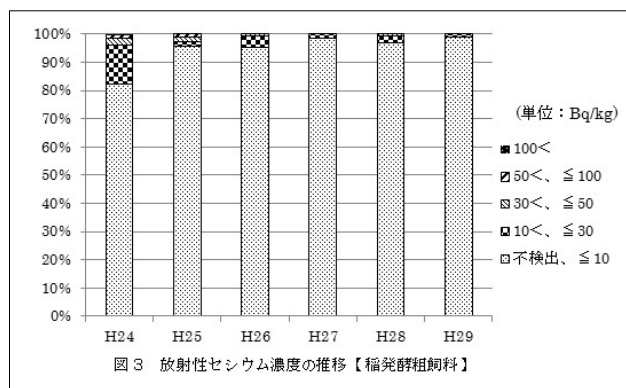
※野草は、永年生牧草が個別判断である市町村（地域）は、原則、利用自粛。

2 平成24年度から平成29年度までのモニタリング結果の推移

モニタリングにおける牧草・飼料作物の放射性セシウム濃度は、平成24年度以降、年々低下する傾向にあります（図1～4）。

永年生牧草（個別判断）は、24年度では約1割が暫定許容値を超過していましたが、平成25・26年度には約1%の超過となり、平成27年度以降の超過はありません。また、イネ科長大作物や稲発酵粗飼料等の単年生飼料作物も平成26年度以降の超過はありません。さらに、50ベクレルを超える割合は、イネ科長大作物、稲発酵粗飼料、稲わらについては、平成26年度以降0%であり、永年生牧草（個別判断）においても平成29年度は0%となるなど、30ベクレルを超過することはありませんでした。





3 牧草の放射性セシウム吸収抑制対策と利用にあたっての留意点について

牧草の放射性セシウムの吸収を抑制するためには、基肥や追肥などにより土壌中の交換性カリ含量を30～40mg/100g乾土に維持することが必要です。土壌中の交換性カリ含量が低い場合には、牧草の放射性セシウム濃度が高まる可能性があることから、土壌分析結果に基づき、適正な量のカリを施用してください。

また、吸収抑制対策後に生産された牧草の利用にあたっては、飼料分析を実施し、カリウム濃度を把握した上で給与する必要があります。

さらに、牧草の飼料分析は、カリウムの過剰な給与の防止にとどまらず、飼料設計（バランスのとれた適切な飼料給与）により、与える飼料のムダや不足をなくした効率的な畜産物生産に不可欠です。

なお、除染後の牧草地の土壌と牧草の分析は、福島県営農再開支援事業を活用できます。

吸収抑制対策や牧草の利用方法、各種事業の詳細については、最寄りの農林事務所や市町村等へご相談ください。

牧草・飼料作物モニタリングは、生産する自給飼料の安全性を確認するだけでなく、家畜生産物の風評被害を払拭するための大切な検査です。農家の皆様におかれましては、引き続き、モニタリングの適切な実施にあたりご協力をお願いいたします。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(0243)631-2488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)553-1667

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上二一
☎(024)945-1306

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五十一
☎(024)526-7303

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川五一
☎(024)577-3121

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(0243)631-2488

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

●品質と信頼の●



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本社 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
〒983-0045 TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827



いわき市で『たまごフェスタ』を初開催



福島県養鶏協会

東日本大震災と原発事故から7年…。物的被害の復旧だけでなく、いわれの無い風評とも闘ってきた福島県養鶏協会（会長＝三品清重（株）アグリテクノ社長）の生産者は、これまでも県内の主要都市で様々なイベントを繰り広げて「ふくしまの卵は安全・安心でおいしい。県民にこそしっかり食べてほしい」と訴え続けてきた。2月24日には浜通り南部のいわき市で『たまごフェスタ』を初開催。消費拡大への想いを海風に任せ、明るく、元気良く、前向きに県産卵の良さをPRした。

イベント会場の『道の駅よつくら港』は国道6号線沿いに立ち、太平洋を一望できる。福島県養鶏協会と地元メディアが連携して告知していたこともあり、午前10時の特設テント前は100人超の人で埋まった。

たまごフェスタはFMいわきの立原めぐみさんと、お笑いユニット『ふくしまボンガーズ』のしなだマンさんの小気味よい進行でスタート。主催者あいさつに立った三品清重会長は、40年前にいわき市にヒヨコを売りに来た思い出から話し始め、大震災と原発事故からの7年間、同協会が風評払しょくのために取り組んできた内容や、卵が持つパワーについて説明。「元気に長生きするためには、年を取っても卵を食べて、運動を欠かさないこと！ この2つが条件だと思う」と強調した。

また、総務省統計で福島市の1世帯当たり卵の年間購入額が3年連続日本1位となったことも話し「いわき市もベスト10入りしてほしい。そのためにも、皆さんには卵をどんどん食べていただきたい」と呼びかけた。

先着順に県産卵100パックが配られる中、司会の立原さんが「みんな卵をもらったら帰ろうとしてるでしょ？ ま

だまだ帰さないからね！」と呼び止め、卵関係の楽しい企画を紹介。

最初に実施された『タマリエ〇×クイズ』は、（株）あぶくま鶏卵（いわき市）の波多野和茂専務や（有）中山養鶏場の中山宗隆社長（国見町）らが集まった人への問いかけを通じて、1日2個以上食べても問題ないことや、卵黄色、卵殻色、有精卵などの違い、栄養面について分かりやすく伝えた。

『プリンの早食い競争』では、子どもの部には（有）大秀商事（いわき市）の「えっぐプリン」が、成人の部には（株）アグリテクノ（伊達市）の「俺のプリン」が出されて大いに盛り上がった。

激しいバトルでにぎわうイベント中にも、（有）松川養鶏（福島市）の酒井裕之社長がFMいわきの生放送に出演し、たまごフェスタへの来場を呼びかけるとともに「卵をいっぱい買って、みんなで分け合ってほしい」とリスナーにPR。午後からの集客増につなげた。

手先の器用さに加え、普段からどれだけゆで卵を作っているか、また、むき慣れているかが試される新企画『ゆで卵の早むき競争』も人気に。

中身を抜いた卵殻に思い思いの絵を描き、装飾する『えっぐおじさんのたまごの学校』は唯一室内で開かれた催し。宮城県名取市を拠点とするアーティスト・菊地克三さんによる指導の下、子どもたちが創造性あふれる作品を次々と完成させた。運営者として様子を見守ったアグリテクノの三品重利常務も、その豊かな感受性と発想力に感心…。

（株）伊奈養鶏場（塙町）の齋藤実社長らが担当した『一ツ星タマリエ検定』も盛況で、参加者は卵の正しい知識を学び、お土産の県産卵と一緒に『卵との思い出』も持ち帰った。



あいさつをする三品会長



えっぐおじさんのたまごの学校

家 畜 取 引 状 況 報 告

平成30年 1～2 月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭 数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販 売 先	
			最 高	最 低	平 均				県 内	県 外
1	雌	325	1,345,680	259,200	709,281	291	2,441	291	151	174
	雄	0								
	去勢	450	1,298,160	397,440	809,203	317	2,549	283	210	240
	計	775	1,345,680	259,200	767,300	306	2,504	286	361	414
2	雌	312	1,387,800	344,520	733,233	284	2,582	286	112	200
	雄	0								
	去勢	396	1,329,480	430,920	837,532	309	2,712	280	179	217
	計	708	1,387,800	344,520	791,570	298	2,655	283	291	417

平成30年 1～2 月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	区分	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
				最 高	最 低	平 均
1 第267回	その他	ホル 雄	55	207,360	34,560	183,482
		ホルフリー	4	89,640	76,680	84,780
		F ₁ 雌	75	228,960	10,800	189,619
		F ₁ 雄	92	339,120	16,200	275,893
		和 牛 雌	4	450,360	429,840	440,370
		和 牛 雄	34	730,080	21,600	553,691
		和 牛 去 勢	0			
		計・平均	264	730,080	10,800	267,504
2 第268回	その他	ホル 雄	82	206,280	8,640	160,736
		ホルフリー	3	85,320	20,520	61,560
		F ₁ 雌	55	261,360	86,400	197,522
		F ₁ 雄	80	344,520	108,000	269,190
		和 牛 雌	3	657,720	373,680	492,480
		和 牛 雄	14	623,160	381,240	538,380
		和 牛 去 勢	0			
		計・平均	237	657,720	8,640	231,134

平成30年 1～2 月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最 高	最 低	平 均		
1	乳 登	0					
	妊 娠 牛	0					
	E T 和 雌	3	447,120	314,280	383,400	4,458	86
	E T 和 雄	7	621,000	464,400	561,446	5,206	108
	乳 雌 子	0					
	乳 雄 子	43	205,200	1,080	146,628	1,934	76
	乳 去 勢 子	1	210,600	210,600	210,600	681	309
	F ₁ 雌 (育成)	7	357,480	226,800	324,617	1,106	294
	F ₁ 去 (育成)	6	384,480	308,880	356,580	1,175	303
	F ₁ 雌 (スモール)	49	216,000	59,400	186,444	2,497	75
	F ₁ 雄 (スモール)	59	306,720	30,240	269,249	3,420	79
	計・平均	175	621,000	1,080	234,452	2,700	96
2	妊 娠 牛	1	766,800	766,800	766,800		
	E T 和 雌	3	476,280	461,160	469,440	4,558	103
	E T 和 雄	7	599,400	469,800	566,537	5,239	108
	乳 雌 子	1	74,520	74,520	74,520	968	77
	乳 雄 子	37	197,640	27,000	153,243	1,990	77
	乳 去 勢 子	0					
	F ₁ 雌 (育成)	13	370,440	273,240	333,637	1,157	289
	F ₁ 去 (育成)	0					
	F ₁ 雌 (スモール)	62	241,920	52,920	190,254	2,773	69
	F ₁ 雄 (スモール)	42	326,160	83,160	254,366	3,343	76
	計・平均	166	766,800	27,000	233,143	2,725	92

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

◇上段「ニュートラック福島」

(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040

●下段「オーブス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(4月)

日 曜	1 ⑨	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 ⑨	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 ⑨	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 ⑨	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 ⑨	30 ⑩
ニュートラック 福島	水 沢		川 崎		笠 松			水 沢		名 古 屋		船 橋		水 沢		名 古 屋		大 井		水 沢		浦 和								大井競馬
オーブス磐梯		川 崎							船 橋							大 井								浦 和						大井競馬

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産の振興や馬に関する伝統行事の保存、街づくり、学校・病院の整備などに役立っています。



地方競馬全国協会